

全道議員研修会へ  
参加・視察研修

平成30年7月2日～4日、札幌市で開催された全道議員研修会に参加し同時に視察研修もしてきました。

標茶町の防災について他町からも学ぶ

【7月20日】

十勝川資料館・池田排水機場を訪問、帯広開発建設部の担当者より十勝川資料館の施設設置趣旨及び施設内の展示内容説明・十勝管内事業概要について資料を基に説明を受ける。

池田排水機場の対象地区には、十勝川に合流する利別川（陸別町・足寄町・本別町・池田町の4町を含む）流域延長150km、流域面積2,855km<sup>2</sup>である。の支流の1級河川清見二線川（流域延長3.5km、流域面積6.4km<sup>2</sup>）が流れている。ここは、池田町の公共施設及び民家が集中している地域であり、過去に

内水氾濫により多くの被害を生じてきた経緯から、費用対効果を踏まえて昭和56年から着手し昭和58年10月に完成した。

費用は当時の金額で約10億円程度であったとの説明を受け、その後施設の外部や内部の状況を視察した。

その後、芽室町「ふるさと歴史館ねんりん」を視察、農業の歴史や農機具の展示を見る。また、本町においても稼働していた帝国亜麻会社のロープ製造工場があったことなども紹介されていた。



川の流れあいホール



十勝川資料館



十勝川資料館



排水機場ポンプ



排水機場

【7月30日】

全道議員研修会  
 (札幌コンベンションセンター)

講演1.

「明治維新から150年、現在そして未来を考える」

歴史家・作家

加来耕三氏

歴史は繰り返されること、物事を考えるときには一旦立ち止まって歴史を交えて考えることなどから、現在や未来への考え方を考察することが大事である等について講演を聞く。



講演2.

「現代日本政治と政局のゆくえ」

日本大学法学部教授

岩井奉信氏

今の政府や国会を含めた政治状況や、今後の政治・政局についてのとらえ方などの講演を聞く。

【7月4日】

月形樺戸博物館を訪問、名誉館長櫻庭誠二氏（前月形町長）の案内で、明治14年開庁の樺戸集治監本庁舎・博物館本館を視察、北海道に開設された集治監の歴史を聞く。

現存する集治監の建物では、明治18年に標茶町に開庁された釧路集治監の建物が最も古いことなどの説明を受け、集治監に収監された囚人が北方の脅威から国を守るために北海道の主要地域の道路建設に携わり、今の北海道開拓の礎を築いたことを聞き。さらには、標茶町の釧路集治監の囚人は帯広く広尾・釧路く網走・標茶く厚岸などの多くの道路建設に携わり、今の道東地域の礎となったことなどもあらためて認識させられました。



月形樺戸博物館

また、網走集治監は釧路集治監の分館として開庁され釧路集治監よりも新しいことや、網走く旭川間の道路建設に多くの囚人が携わったことなどの説明を受けた。

標茶町の釧路集治監に現存する資料等は、北海道開拓の歴史を知ることなどで非常に重要な資料であるとの認識を新たにし、標茶町博物館「ニタイ・ト」にも重要な役割を果たしてほしいと考えます。



月形樺戸集治監資料



月形樺戸集治監